

板谷公園 付銘板 (いたやこうえん つけたり めいばん)

板橋区登録記念物(史跡) 平成21年3月26日登録

板谷公園がある板橋三・四丁目一帯は、船運業を営む板谷宮吉が、昭和10年(1935)1月に大規模住宅地「上御代の台」の造成に着手した場所です。その事業は同13年8月に完成しましたが、その過程で板谷は土地の一部を公園用地として東京市に寄贈し、同市が造成を行い、同12年4月29日に東京市板谷公園が誕生しました。

その後、昭和18年の都制施行に伴い都営となり、さらに、同25年10月1日には板橋区へ移管されました。

現在、公園の出入り口には開園当初設置のコンクリート製門柱が残り、その2か所に「東京市板谷公園」、「東京市板谷公園 昭和十二年四月開園」と公園の由来を記した大理石製の銘板が取り付けられています。

このように、当公園はその来歴に板橋三・四丁目地域の歴史が色濃く反映された、区内に現存する最も古い公園です。



銘板

所在地:板橋区板橋4-55

交通:都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩13分